

講演会型＋体験活動参加型（小学校）

学 校 名	養老町立日吉小学校
実施日時	平成28年12月2日（金）～12月3日（土）
会 場	日吉小学校 各教室及び体育館
参加人数	約300名（全校児童153名＋保護者・地域の皆さん）
学習課題（分野）	ひよし人権フォーラム（家族の絆と人権）
運営者の願い	藤井先生の道徳の授業や講演会を通して、学校・家庭・地域がともに人権の大切さについて考え、差別や偏見をなくし、温かく接し合うコミュニティづくりができるようにする。また、藤井先生の体験から家族の温かさや大切さについて学び、家族の絆を深めることができるようにする。

学 習 の 内 容

<タッチ先生による道徳授業>

○「友だちを思いやる心の大切さ」の道徳授業

- ・1年生から6年生までのすべてのクラスで、藤井先生と担任で道徳の授業を行った。
- ・保護者の皆さん、地域の皆さんも授業を参観して児童と一緒に友だちの大切さについて考えることができた。
- ・藤井先生からは子どもたちにたくさんのメッセージをいただいた。「いじめ」は犯罪であること、その「いじめ」をなくすために、①一歩踏み出す勇気をもつこと、②見て見ぬふりをする人にはならないこと、③いじめる人は弱い人であり、自分がいじめる人になってはいけないことを教えていただいた。
- ・「自分はいじめる人にはならない！」と藤井先生に約束をすることができた。



- ・顔を触ったとき、「ぶにぶに」して、気持ち良かった。私は友だちを見捨てないで、勉強もいっぱいして、藤井輝明先生みたいな人になりたい。

<藤井輝明先生による講演会>（児童・保護者・地域の皆さん）

- ・「ひよしコミュニティ・スクール」の行事として児童と保護者だけでなく、地域の皆さんも一緒に参加して藤井先生の講話を聞くことができた。
- ・「家族の絆 ～優しさに包まれて～」と題した講演の中で、『くじけそうな自分をいつも支えてくれた母親の深い愛情と優しさのおかげで、今の自分がある』ということをお話いただいた。
- ・講演を通して、家族の大切さを学ぶことができた。自分があるのは家族の支えがあったからだと感じることができた講演会になった。
- ・藤井先生のお話を聞いて、児童は「いじめにも負けず、自分にしかできないことをやろうとする輝明先生がすごい。初めは『なぜ、そんなにも前向きになれるのだろう。』と不思議に思ったけれど、両親を信じていれば不可能なことはない。」というような感想をもつことができた。この講演を通して家族との絆を深めることができた。



ひよし人権フォーラムとして、藤井輝明先生を講師としてお招きし、道徳の授業を行うだけでなく、保護者・地域の方と一緒に講演会を行った。講演会前日に全学級で道徳授業を実施。翌日に「家族の絆～優しさに包まれて～」の演題で講演会を行った。



「てるちゃんのかお」の絵本の主人公である藤井先生から直接お話を聞くことができた。授業にも講演会にもたくさんの保護者と地域の方が参加することができた。児童も保護者も地域の皆さんも藤井先生のお話聞いて笑顔になり、顔にタッチさせていただいて、とても温かい気持ちになった。家族の絆と人権の大切さについて地域ぐるみで考えることができた。

○私が一番印象に残っていることは、「自分の顔の腫れはチャームポイント」と「どんな事でもできないと決めつけず、まず挑戦することが大事」ということです。「少し顔に腫れがあっても、みんな同じ人間だし、その事で悲しくなっても、自分の顔のチャームポイントだ。」と話していただいた時に、自分も「お母さんから産まれてきた大事な自分なのだ」ということが分かりました。